
8 肝臓（特にB型肝炎）に対するシイタケ菌糸体抽出物質の有用性について

○野村 喜重郎（三軒茶屋病院）
長岡 均（（株）長岡L・E・M研究所）

〔目的〕 肝炎、特にB型肝炎は国民病となっている現状で決め手となる治療法が見い出されていない。そこで、免疫賦活作用を有するシイタケ菌糸体抽出物に着目し、肝臓に対しての有用性について試験を行いB型肝炎患者への治療効果を検討した。

〔方法〕 急性および慢性のB型肝炎患者58名にシイタケ菌糸体抽出物を1日、2gを毎日服用させた。定期的に血清生化学的検査を中心に行い、判定はGOT,GPTの数値やe抗原、e抗体の数値の推移を指標とした。

〔成績〕 シイタケ菌糸体抽出物による治療過程において肝機能検査値が顕著に改善され42症例がHBe抗原陽性から陰性になり、その内9症例はHBe抗体陽性に転換した。この間にシイタケ菌糸体抽出物による副作用は全く観察されなかった。

〔結論〕 B型肝炎にシイタケ菌糸体抽出物を用いたところセロコンバージョンが40%以上という高い効果が認められた。また、GOT,GPTや自覚症状の改善つまり臨床的に有効あるいは好転したということを含めれば70%以上に有効という驚異的な結果が得られた。また、シイタケ菌糸体抽出物を用いた全ての症例で、悪化あるいは副作用があったとは認められなかった。これらのことからB型肝炎に対しての治療にシイタケ菌糸体抽出物の効果は高いものと考えられ、副作用が全くないため安全性が高く、安心して使用できるものと考えられた。